



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 Happy♡Smile より高畠ロータリークラブ主催「家族交流会」
- ・宮城県 東北へJAZZを届けよう！ JAZZ FOR TOHOKU in 石巻
- ・山形県 鳥海山のふもとで田植え／ナスカの地上絵を体験しよう！
- ・Special Interview アロマな癒しの空間 ～LaLa moment～
- ・しあわせココロのつくりかた(34) ・みんなの声
- ・おすすめ情報 ・レシピ ・団体紹介 ・編集部より

第62号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 3,000部

Happy♡Smile

高畠ロータリークラブ主催「家族交流会」

高畠町少年少女合唱団の皆さんとステージで一緒に歌ったり、「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」のDVD鑑賞、そしてホルンの演奏会ではホルンを吹かせてもらう貴重な体験ができました。

ピザ焼き体験では、高畠石製の大き

いっぱい駆け回りました。



5月10日(日)、昨年に引き続き、高畠ロータリークラブ避難者支援事業「家族交流会」が、浜田ひろすけ記念館で開催され、高畠に避難されている12世帯と福島に帰還された8世帯の計20世帯60名の皆さんが参加しました。当日は、風が強く空気がひんやりと感じる1日でしたが、子ども達は記念館前の大きな池で釣りをしたり、元気



な焼き釜が設置され、ピザ生地の上にトマトやサラミ、エビなどを子ども達が自由にトッピング。自分で作ったピザの美味しさは格別だったようです。お昼には、高畠ブランドつや姫おにぎり、芋煮、「あいこ」「どへな」など珍しい7種類の山菜や、サラダ、たかはたファームの100%ジュースなど、高畠ならではの料理が鮮やかに並び、感動しきりでした。帰還された方々との久しぶりの再会は、元気なお顔を見ることができ、近況を聞くいい機会となりました。今も避難生活を続ける方々も、週末しか会えないお父さんとの楽しい時間は、子ども達にとつて素敵な思い出になったことでしょう。2年連続でこのような盛大なイベントを企画してくださった高畠ロータリークラブの皆さまのご尽力に、心から感謝したいと思います。(Happy♡Smile)

鳥海山のふもとで田植えをしよう！ 保養

「鳥海山のふもとで田植えをしよう！ 保養」(主催:TEAM毎週末みんなで山形)が5月16日(土)17日(日)に開催されました。庄内町の米農家・阿部利勝さんと庄内町教育委員会が協力し、福島県から避難してきた親子が田植え体験をしました。この取り組みは、「土に触れさせたい。お米がどうやって作られるか知ってほしい」という当事者の声に阿部さんが応え、2013年春から行われています。第3回を迎え田植えに慣れてきた子ども達は泥だらけになりながらも得意気に苗を植えました。カエルを追いかけたり、トラクターに乗せてもらったりと普段できない体験に子ども達の歓声が響きました。震災後の福島で土に触れずに育ち、田んぼに入ることにためらいを持っていた女の子が、今回自分から田んぼに入れたことを泣いて喜ぶお母さんの姿がみられました。(マミヤ)

From 山形



From 宮城

東北へJAZZを届けよう!

JAZZ FOR TOHOKU in 石巻

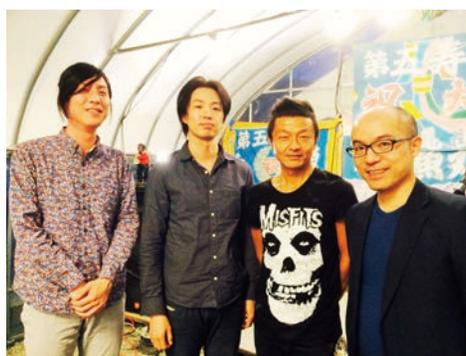


石巻市渡波(わたのは)地区の「かき小屋渡波」で5月10日、JAZZ FOR TOHOKUによるライブが行われました。JAZZFORTOHOKUは2011年6月に「東北にジャズを届けたい」というミュージシャンたちの想いで始まった活動。これまでの参加ミュージシャンは50名を超え、その中から毎回有志によるライブが福島県、宮城県、岩手県の仮設住宅や商店、小学校などを中心に行われてきました。

この日も地元の人や現地のボランティアなど30名近くが、かき小屋渡波に集まりました。

会場に来ていた観客は「4、5年経って震災も風化していく中、支援で演奏に来る人はどんどん減っているけれど、こうして未だに来てくれる人がいるのは本当に嬉しい。」と話し、会場ではリクエストも飛び交い、プロミュージシャンによる演奏で盛り上がりました。

「被災地で聞いた生の声を自分たちが全国ツアーで伝えていく事も大切にしていく」と話すメンバーは、演奏後子どもたちに楽器を教えたり、住民の方々とお茶っこのするなど音楽を通じた交流活動にも力を入れ、被災地との交流を続けていきます。今後の活動はホームページとFacebookで随時発信しています。ぜひご覧ください。



<http://www.jazzfortohoku.com/>
<https://www.facebook.com/JazzForTohoku>

From 山形

寺子屋子ども大学特別授業 「ナスカの地上絵を体験しよう!」を終えて



また、5月10日には「ナスカの地上絵を体験しよう」(坂井正人教授)を実施しました。お天気もよく、17名の参加者を得て無事終了しました。ライナーや石灰の準備、グラウンドの確保など、初めての試みだけに苦戦?もありましたが、坂井教授の魅力あふれる授業や子どもたちの笑顔を見るとやってよかったと、満足感でいっぱいです。7月26日には「楽しい音楽教室」を開催します。ぜひご参加ください!詳しくは本紙『おすすめ情報』をご覧ください。

(寺子屋子ども大学 代表
山形大学人文学部教授 松尾 剛次)

寺子屋子ども大学は、2014年度以来、毎月2回、山形の教員による特別授業や山大学生による学習支援活動を行っています。震災から4年が経過し、帰還される方も増え、小学生だった子どもたちも中学生になるなど、参加者数も減少しつつあり、2015年度は山形大都市・地域学研究所と共催で、一般の小・中・高生をも参加可能とするようにしました。

4月27日には「最上義光を楽しむもう」(講師松尾)を開催しました。



* わたしの 3.11 *

みんなの声... キャンドルナイト『追悼・復興への祈り』

2015年3月11日、東日本大震災から4年を迎え、追悼と復興を願った式典・キャンドルナイトが山形市文翔館前広場で行われ、来場していただいた方々よりメッセージをいただきました。(一部掲載)

もう4年、まだ4年。復興から未来へ!! 皆の力を結集して、美しい東北を取り戻しましょう。
(山形市・男性)

はやくほうしゃのうがな
くなりますように
(女の子)

がんばろう 日本!!!
東北!!!
(広島県福山市・女性)

一日もはやい復興と東北に笑顔がもどることをお祈りします。一人一人ができることを。
(山形市・女性)

忘れないよ。これからも、自分のできることをやっています。皆でがんばろう! (山形市・女性)



除染もすすみ、やっぱりふるさとが恋しい日も多々あります。こちらに友人もできましたが。
(福島市→米沢市 30代女性)



今一番の悩みは、交通マナーの悪い人が多いことです。山形にきて3回目の当てにげにあいました。黄色はススめ。車間距離をあげない。すぐおいこそうとする。たまにはではないので、毎日こわいです。スーパーで平気でドアを開けてくる人が多く、2回あてられています。荒っぽい人が多く?車のキズを気にしない人も多い気がします。チラシ配りのしごとをやめさせるのは違反ではないですか。結局、会社の都合のようで納得いきません。ひきこもりになりそうです。はえぬきはとつてもおいしいです。くだものもおいしいです。
(福島市→山形市 40代女性)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ccenter/?form=2>

シアワセココロ しあわせココロのつくりかた (34)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

辛苦の状況下でも笑って生きていられる人がいます。一方で、怒りや攻撃に身を任せる人もいます。前者は、日々を生かされていることへの感謝が養われている人。心がやわらかで豊かです。そんな人には、周りに素敵な人が集まり、愛ある助けが集まります。また、愛を素直に受けとめることが出来る人は、素直に笑顔が生まれます。その循環は、関わるすべての人の心に喜びを生み、幸せを増やしていくのです。

一方、傷ついたことに意識を向け過ぎていると、怒りや悲しみなど負の感情の連鎖が起きやすくなります。どのような立場にあっても人間である以上、怒りをぶつけられれば、当然、痛みを感じます。その痛みを感じた人が同じように誰かを攻撃してしまうことになったら……。このような負の連鎖は、世界に争いを生む種です。自分を不幸と設定したところから不幸が始まることを知っていてほしいものです。



カウンセリング・ルーム メール相談: ryokusuinomori@yahoo.co.jp



Special Interview

アロマな癒しの空間

～ LaLa moment ～

しんかわ けいこ
新川 景子 さん

うるかむ 36号 (2013年4月17日発行) にも掲載した新川さんに、改めてお店をオープンしてからの事など、お話を伺いました。



Q 震災前・震災時はどこで過ごしていましたか？

福島県南相馬市原町区で製造関係の仕事をしていました。震災で仕事を失い、原発事故後に両親・祖父母・相馬の姉家族と山形県に避難してきました。その後は、借り上げ住宅制度が始まるまで山形市総合スポーツセンターの避難所で過ごしました。

Q お店をオープンしたきっかけは？

避難所で過ごしていた頃、ボランティアで来ていた方にアロマトリートメントをもらった時に、震災後初めて疲れを癒せた事に気が付き、「自分も心地よい空間を作りたい」と思うようになりました。

その時は借り上げ住宅も1年だけかもしれないと思っていた事もあり、通常は数年かかる資格を1年でとりました。開業する場所は避難元か、宮城県か、山形県か迷いましたが、避難から時間が経ち、子どもは山形の環境に慣れていたため、山形県に残ってオープンすることに決めました。



Q お店をはじめてみてどうですか？

美容関係のお仕事をしている方に、「最初の3年は赤字を覚悟しておいた方がいいよ」と言われ、そのつもりで始めましたが、今はお客さんも徐々に増えてきました。アロマの敷居をできるだけ低くしたいという思いから、低価格のメニューも揃えました。オープンから1年を過ぎた頃から避難者とは知らずに、純粋にアロマが好きで来てくれる人が増えてきて、とても嬉しいです。最近、新たにアロマの資格を取りたいという方へのサポートも行っています。家族との時間がとれる環境を大切にしながら、続けていきたいと思っています。

避難している方へのメッセージ

「一人でやるなんてすごいね」とよく人から言われますが、やらなきゃいけない環境があつたから、がむしやりに頑張れた気がします。誰でも、その時、その時でベストを尽くしていれば良いと思う。自分が苦しくならないように、結果が完璧でなくても、「その時」ベストを尽くした自分にマル〇をつけてあげていきたい。時間が経つとも忘れてしまいがちだけど、きつとみんな、震災の時に大きく変わった価値観があつたと思います。「自分にとって何が一番大切か。」それを忘れないように、人生を楽しんでいこうと思います。

<アロマトリートメントメニュー>

☆ボディご新規様 20% OFF

◆ボディコース

40分コース 3,500円

- ①ぐっすりうつぶせコース (背中・脚背面)
- ②上半身すっきりコース (背中・デコルテ・ヘッド)
- ③腸セラピーコース (背中・脚背面・お腹)

60分コース 5,000円 40分コース+ (背中・脚・お腹・デコルテ・腕) から1か所

90分コース 7,500円 全身ショートコース (背中・脚・腕・お腹・デコルテ・ヘッド)

120分コース 10,000円 全身コース (背中・脚・腕・お腹・デコルテ・ヘッド)

◆フェイシャル 40分 3,000円(デコルテ～首～頭～お顔)

◆スペシャルケア 120分 10,000円(全身+フェイシャル)

◆カフェアロマ (部分ケア)

- ①ハンドマッサージ 15分 700円
- ②デコルテ&ヘッド 20分 2,000円
- ③フットバス&ひざ下まで or 脚背面 30分 3,000円
- ◆フット角質ケア 60分 3,800円、90分 4,800円

< LaLa moment >

住所：山形市緑町 2-14-15 駐車場はサロン裏にあります。

お問合せ：Tel 080-8202-1833

または下記 HP にメールフォームがあります。

営業時間：平日 9:30～17:30 (当日ご予約可)

第2・4土曜日 9:30～16:00

(前日までのご予約をお願いします)

HP：http://www.lala-moment.com/

おすすめ情報

[福島県から山形県に避難されている皆さまへ]

■ 支援情報説明会・交流会のご案内

復興庁より住宅のことなどこれからの支援策についての説明会を行います。

直接復興庁に質疑応答できる機会です。ぜひご参加ください。

9月・12月にも説明会を予定しています。

日時：7月12日(日) 10:45～14:30(受付10:30～)

場所：山形市保健センター 視聴覚室・ふれあいの間

(山形市城南1-1-1 霞城セントラル3F)

☆託児ルームあり(ふれあいの間)

駐車場：霞城セントラルパーキング(無料券お渡しします)

申込み締切：7月8日(水) 17:00まで

【お申込み・お問合せ】

一般社団法人 山形県被災者連携支援センター

TEL：0237-85-1070(9:00～17:00) FAX：0237-85-1071

メール：info@yamagatarensen.net

復興庁「県外自主避難者等への情報支援事業」

[寺子屋子ども大学「特別授業 楽しい音楽教室」]

山形大学の藤野祐一教授をお迎えして、楽しい音楽教室を開催します。

日時：7月26日(日) 9時半～(2時間程度)

場所：山形大学文化ホール(山形大学小白川キャンパス内)

参加費：100円(保険代)

対象：小・中・高生(定員30名 先着順)

申込は、メール・電話・FAXで

7月24日(金) 午前11時締切

【申込&問合せ先】

寺子屋子ども大学事務局 山形大学都市・地域学研究所事務局

(山形大学人文学部松尾剛次研究室内)

TEL & FAX：023-628-4871

担当：結城 / 090-4559-7623 松尾

E-mail：kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp



[山形県からのお知らせ]

岩手県及び宮城県からの避難者に対する民間借上げ住宅の入居期間を延長しました。また、県営住宅及び県職員公舎につきましても、民間借上げ住宅と同様の扱いとなります。

なお、平成27年度中に住宅不足が概ね解消される市町村からの避難者については、原則として、今回、入居期間の延長を行いませんが、住宅が完成しない特定の事情のある方については、住宅に入居する時期まで延長を行います(特定延長)。

◆岩手県

(1) 一律延長/宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、野田村

(2) 特定延長/奥州市、一関市

◆宮城県

(1) 一律延長/石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、東松島市、女川町、南三陸町

(2) 特定延長/仙台市、多賀城市、亶理町、山元町、七ヶ浜町

詳しくは、山形県ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenery/020072/fukkou/kariage-jyutaku.html>

【問い合わせ先】

復興・避難者支援室 電話 023-630-3100



[平成27年度 福島県奨学資金《震災特例採用》

奨学生のご案内]

福島県教育委員会では、東日本大震災により被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援するため、福島県奨学資金《震災特例採用》の奨学生を募集します。

◆対象者

保護者が福島県内に住所を有し、東日本大震災により被災し、下記のいずれかの事由により修学が困難な状況にある高校生、専修学校(高等課程)生及び特別支援学校高等部に在籍する生徒

(1) 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合

(2) 警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合

(3) 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合

(4) 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合

(5) 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合

(6) その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合

※1年生以外の学年の方も応募できます。

◆貸与月額

国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円

私立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円

◆貸与期間：平成27年4月～平成28年3月

◆利子：無利子

◆保証人：連帯保証人1名(原則保護者)

◆申込方法

願書に必要書類を添付し、在学する学校へ申し込んでください。申込み手続き等については、学校へお問い合わせください。

◆申込締切：学校から県教委への提出締切

平成27年7月31日(金) 必着

詳細につきましては、以下お問合せください。

【お問合せ】福島県教育庁高校教育課

〒960-8688 福島市杉妻町2-16 電話 024-521-7775

[こどもの健康相談〔小児科医師による面談相談〕]

村山保健所では小児科医師による面談相談をしております。お子さんを遊ばせながら(託児あり)、ご相談できます。

日時：毎週水曜日14:30～ 要予約

(前日までに電話等でお申し込みください)

場所：村山保健所 3階相談室(遊戯室) 託児あり。

費用：無料

おもな相談内容：

・育児の悩み・子どもの発達の悩み・子どもの体や病気のこと

・その他、お子さんのことで普段気になっていること

【お申込み・お問い合わせ】

村山総合支庁(村山保健所) 子ども家庭支援課保健支援担当

〒990-0031 山形市十日町1-6-6

TEL 023-627-1203(直通) FAX 023-622-0191

みなさまからの情報をお寄せください!

■復興ボランティア支援センターやまがた

・住所：山形県山形市松山3丁目14番69号
(FM山形ビル1階)

・TEL：023-674-7311 FAX：023-674-7312

・E-Mail：kizuna@yamagata1.jp

・開館時間：9:00～17:00 ※土日祝日、年末年始休館

・HP：http://kizuna.yamagata1.jp/



ひと休み

梅 干 し

<材料>

梅 5kg
あら塩 900g (梅の18%)
赤じそ 500g (梅の10%)
もみ塩 100g (赤じその20%)

梅干しは食中毒菌の増殖を抑制する作用(制菌作用)があるので夏のお弁当にぴったり♪
クエン酸も豊富で、疲れをとる効果があるほか、細胞や組織の酸化予防にもなるので美容にもよい食品です。

<作り方>

- ① 梅はさっと洗い塩水(2%)に一晩漬けアクをとる。
- ② 傷のあるものを取り除き、よく水気をきる。
- ③ 容器の底にひとつまみの塩をふっておき、梅に塩をまぶしながら容器に入れる。押しつぶたをして、重石をしておく。2~3日して水が上がったら重石をして涼しいところにおく。
- ④ 赤じそを塩でもみ、初めの赤黒い水は捨てて、塩をまぶしながらもんでいるうちに、だんだん綺麗な色になる。
- ⑤ ③と④を交互に漬けておむ。
- ⑥ 土用の丑の日あたりの天気の良い日に保す。3日ぐらい干す。



レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん

☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪ <http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

団体紹介

一般社団法人 山形県被災者連携支援センター



山形県被災者連携支援センター

山形県被災者連携支援センターは、大谷哲範(緑水の森支援活動)・早坂信一(日曜奉仕団)・佐藤洋(毎週末みんなで山形)が中心となって、避難者への総合的な支援、山形県内の支援団体相互の連携促進を目的に設立しました。昨年度から復興庁の「県外自主避難者等への情報支援事業」を受託し、福島県から山形県へ自主避難されている方々へのニュースレターの発送、支援情報説明会・交流会の開催、相談支援に取り組んでいます。支援情報説明会は復興庁・福島県の担当者との直接対話の場であり、ご意見・ご要望を伝えられる機会です。第1回支援情報説明会が7月12日(日)に開催されますので是非ご参加ください。また5月28日にお送りしました第1回ニュースレターに希望確認書が同封されています。今年度のニュースレターをご希望される方は内容をご確認のうえご返送ください。貴重な情報等ございますのでぜひご活用ください。

お問合せ はこちら

一般社団法人 山形県被災者連携支援センター 代表理事 大谷哲範
〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西355村山総合支庁西庁舎 やまがた絆の架け橋ネットワーク内
TEL 0237-85-1070 FAX 0237-85-1071 Email info@yamagatarensen.net
CocoroNAVI(相談ダイヤル) 0120-293640

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

復興ボランティア 支援センターやまがた



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

次号は7月15日発行です

情報提供や寄稿は、
7月1日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております！



避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つなごろう！ささえあおう！
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

* 飼っている犬が9歳になりました。人間年齢にして50歳だそう、更年期かしら、最近わがままです。(ただ)

* センターの模様替えをしました。配置が変わっただけですっきりして明るくなったような気がします。(サチ)

* 夏に向け、筋トレを再開しました。3日坊主がなんとなくなりました。1年続けば御の字です。(結)

* 娘がめでたく二十歳に。でも幼少の頃がまだ最近のことのように。今思うと、あの頃はとてもキラキラしています。(海)

つなごろうNET

<http://tsunagarou.net/>



「うえるかむ」に掲載されたこれまでの記事のすべてと、リアルタイムなおすめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。